

長岡造形大学「学生による自慢の講義・研究室紹介」

プロダクトデザイン学科 池永研究室

プロダクトデザインとは一般に立体物や製品のデザインを意味しますが、池永研究室ではモノの外観デザインのみならず、ターゲットユーザーや使用シーン、提供価値までを一貫してデザインしています。また、私たちの研究室には家電やOA機器メーカーへの就職を志す学生が多く集まっています。各自の作品をより良くするために学生同士で意見を交わし、「理に適ったデザイン」をモットーにしてレベルの高い提案をしています。



建築・環境デザイン学科 津村研究室

私たちの研究室は文化財保存コースに属していますが、各人のテーマはまちづくり、建築群、ディテールなど多岐にわたります。根底にあるのは、設計をする人材は都市も歴史も理解することが必要であるという津村先生の考えです。週に1度のゼミでは、それぞれの研究テーマについて、文献の読み込みや発表が行われ、ときには学生同士で意見を交わしています。また、時折行われる見学では、フィールドワーク的にまちと建物の関係や歴史を考えています。



視覚デザイン学科 吉川研究室

私たちは、グラフィックデザインという枠にとらわれない、多種多様なテーマで研究に取り組んでいます。今年の研究生は、イラストの表現研究や商品企画、地酒のリ・デザイン、モノの認識やコミュニケーションデザインの研究などを行っています。目的や意味を持ったデザインの重要性や、ただ表現するだけで終わらずに、それを見た人にどう伝えるのかまで考えることの大切さを学んでいます。卒業制作展、ご期待ください！

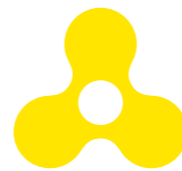


美術・工学学科 遠藤研究室

遠藤研究室では、絵画の製作およびその研究をしています。絵画の製作と一口に言っても、油彩やアクリル、水彩などたくさんの方の表現方法があります。しかし近年、「アート」と呼ばれるものの中には、インスタレーションなど絵画以外の表現方法をとるアーティストも多くいます。そのなかで何故、私たちは「絵画」という形をとるのか。この時代に「表現」をする私たちは考えなくてはなりません。今日も遠藤おじさんと仲よく、時々けんかもして思考を続けます。



＼きになるがここにある／



まちなかキャンパス長岡
machinaka campus nagaoka

まちキャン通信

2月号

発行:平成31年2月1日

Vol.105 February 2019

まちキャン通信編集部 まちなかキャンパス長岡運営協議会 広報分科会 〒940-0062 新潟県長岡市大手通2-6 フェニックス大手イースト4F
TEL.0258-39-3300 FAX.0258-39-3301 E-mail.machicam@city.nagaoka.lg.jp

Nagaoka
Institute of Design

長岡造形大学
2019年
卒業・修了研究展

2019年
2月8日(金) - 2月11日(月・祝)
時間:午前10時~午後6時
(最終日は午後3時まで)
会場:長岡造形大学
入場無料

お問い合わせ
長岡造形大学 学務課
〒940-2088
新潟県長岡市千秋4丁目197番地
tel. 0258-21-3351
e-mail gakumu@nagaoka-id.ac.jp
https://www.nagaoka-id.ac.jp/

Graduation
Exhibition
2 Feb. 8-11



公立大学法人
長岡造形大学
Nagaoka Institute of Design

3月のまちなかカフェ

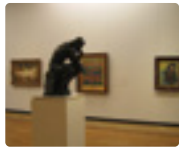
おいしいコーヒー、紅茶を飲みながら
気軽に楽しめる講座です

申込受付

2/12(火)~

※電話・HPで

定員 20名(先着) 受講料 500円 会場 4F 交流広場



美術館学芸員のお仕事

美術館のガクゲインって、何してるの?あの、部屋のスミに座っている人?…って思っている方、いますよね。いいえ、違います。なんだかんだで、美術館学芸員のお仕事は結構ハード。展示会のつくり方などをはじめ、学芸員の仕事内容について楽しくお話しします。

3/7(木)
19:00~20:30

新潟県立近代美術館
専門学芸員 松矢国憲



まちキャンボランティア企画講座 3月のこども理科工作・実験教室

定員 小学生25名(先着) 受講料 500円 会場 4F 創作交流室

申込受付

2/12(火)~

※電話・HPで



静電気おもちゃをつくって遊ぼう

冬にセーターを着るときや車を降りるときに、バチバチと感電することはありませんか?それが静電気です。静電気を利用した空飛ぶ電気クラゲや、静電気モーターのおもちゃをつくって遊びながら、身の回りで起こる物理現象、静電気について学びましょう。

3/24(日)
13:30~15:00

長岡技術科学大学
名誉教授 藤井信行
名誉教授 堀見友雄 ほか



Topic

まちキャン交流会を開催します!

日時 3月16日(土) 13:30~15:30 定員 20歳以上の方 80名程度

会場 4F 交流広場 参加料 500円

まちキャンで、おいしいものを食べながら親睦を深めませんか。まちキャンボランティアスタッフが中心となって皆さんをおもてなしします。まちなかカフェ、大学、市民プロデュース講座、ボランティア企画講座などの講座を受講した方や、まちキャンを利用したことがある方、これから利用しようと考えている方など…どなたでも参加OK!お楽しみ抽選会やそば打ち実演なども開催する予定です。



申込期間

2/12(火)~3/8(金)

※電話・HPで



3月の企業・団体プロデュース団体寄附講座

定員 30名(先着) 受講料 無料 会場 5F 交流ルーム

申込受付

2/12(火)~

※電話・HPで



人生100年時代!簡単投資でお金も長生き!

近年、長寿化が進み「人生100年時代」と言われています。しかし、老後の生活費は年金だけでは足りず、貯蓄を取り崩す方が多いようです。貯蓄を少しでも多く残すには「資産運用」が有効です。「平均余命は何年?」「老後はいくら必要な?」等のよくある疑問にお答えし、誰でもできる「簡単投資」について紹介します!お茶とお菓子を楽しみながら、気軽に学びましょう。

3/4(月)
19:00~20:30

株式会社北越銀行
営業統括部
マネーコンサルタント

2月の催しもの

まちなかカフェ

市民プロデュース講座

日程	時間	内容	講師
2/14(木)	19:00~20:30	チョコのこと、聴講しよっ♡ースイスチョコ編ー	長岡造形大学 教授 ヨールグ・ビューラ
2/21(木)	19:00~20:30	4次元空間という概念があるねん	長岡工業高等専門学校 助教 中山雅友美
2/24(日)	13:00~17:00	身近な人とのより良い関係を築く話し方、接し方 ①ひきこもり支援から学ぶコミュニケーションと親の接し方	長岡キャリアコンサルタント・ネットワーク 小黑祐子、関口直樹

休館日 2/5(火)、19(火)

PRコーナー 長岡技術科学大学「バイオサステナブル環境材料工学研究室、野生動物管理工学研究室紹介展示」



異文化理解

2018年の外国人旅行者数は3,000万人を超えることが確実と思われまます。それに伴い、文化が衝突する場面も増えてきており、その解決策が重要になります。例えば「お通し」文化はなかなか理解されません。なぜ頼んでないものにお金を払う必要があるのかということに加え、欧米ではベジタリアンが増加しており、食べられないものが出されるケースもあるからです。ビーガンと呼ばれる人々は特に困っています。とはいえ、日本の文化を急に変えるのはとても難しい話です。

※ビーガンとは、絶対肉食主義者のこと。ベジタリアンは卵や乳製品を食べるのに対し、ビーガンは、それらも一切口にしない。

お申し込み 電話またはまちなかキャンパス長岡ホームページよりお申し込みください。

Tel.0258-39-3300

まちなかキャン 検索 (http://www.machicam.jp)



注意事項 ◎無料保育サービス(6か月~未就学)があります。希望される方は、講座日の10日前までにまちなかキャンパス長岡までご連絡ください。

◎講座の申込をキャンセルされる場合は、必ずご連絡ください。キャンセルの受付は、開催日前日の閉館まで(平日・土曜は22:00、日曜・祝日は18:00まで)とさせていただきます。連絡をいただかなかった場合は、受講料を徴収させていただきます。

◎まちなかキャンパス長岡主催の講座は、いきいき県民カレッジに登録しています。

協賛企業 私たちはまちなかキャンパス長岡を応援しています。(協賛金口数順・五十音順)

アクシアル リテイリング株式会社、日本精機株式会社、朝日酒造株式会社、安達紙器工業株式会社、岩塚製菓株式会社、FMながおか、JA越後ながおか、株式会社大光銀行、株式会社第四銀行、長岡グランドホテル、中川酒造株式会社、有限会社パーマール、北越コーポレーション株式会社、株式会社北越銀行、ヨネックス株式会社、ワタナベグループ

S N S まちなかキャンTwitter



まちなかキャンFacebook



まちなかキャン YouTube (PRムービー)



編集後記

まちキャンでは2月14日のバレンタインデーに、まちなかカフェ「チョコのこと、聴講しよっ♡ースイスチョコ編ー」を開催します。バレンタインデーに、女性が男性にチョコを贈る習慣は、実は日本だけです。スイスでは、男性から女性にお花を贈るのだそうです。しかもそのお花は、愛の証を象徴する赤色のバラが一般的だとか。ロマンチックですね。そんなジェントルマンなスイス出身のゲストがお贈りする「チョコ」のお話を、「チョコ」っと思っていませんか?

3月号につづく